

内閣総理大臣

安倍晋三様

南相馬市における避難指示区域外の
地域に対する賠償を求める要望書

平成27年9月18日

福島県南相馬市長 桜井勝延

福島県南相馬市議会議長 平田 武

経済産業大臣

宮 沢 洋 一 様

**南相馬市における避難指示区域外の
地域に対する賠償を求める要望書**

平成27年9月18日

福島県南相馬市長 桜井勝延

福島県南相馬市議会議長 平田 武

東京電力株式会社

代表執行役社長 廣 瀬 直 己 様

**南相馬市における避難指示区域外の
地域に対する賠償を求める要望書**

平成27年9月18日

福島県南相馬市長 桜井勝延

福島県南相馬市議会議長 平田 武

南相馬市では東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から復興すべく日々邁進しています。

今般、政府の原発事故からの復興指針には、旧緊急時避難準備区域等、避難指示等が解除された地域におけるさらなる復興施策を積極的に展開していくことが明示されました。

しかし、南相馬市における避難指示区域以外の地域における原発事故の被害は甚大であり、その被害については適切な賠償がされていません。

本市には、童謡「故郷」に歌われる「山は青き故郷、川は清き故郷」がありました。市民は豊かな自然の中で、山に入っては山菜やきのこを採り、食べる、川に入っては水遊びをし、魚を釣り、食べるといった生活をしていました。また、市民は、祭りに集い、日々の生活を相互に助け合って強く、温かい地域のつながりを築き、市民は、それぞれの生業に誇りをもって営んでいました。

しかし、これらの市民生活は原発事故で一変し、山や川に自由に立ち入ることはできず、町に人の声は減り、こ

れまでの生業を失った市民も多くいました。

地域の絆による住民同士の支え合いの態勢、子どもや高齢者の見守りや防犯、消防団などの地域組織といったものの多くが失われてしまいました。

また、本市の避難指示区域外の地域では、周囲を高い放射線量の地域に取り囲まれた状況のなか、そうでない地域に比べ、より放射線による影響に対して注意を払いながら生活する必要があります。

さらに、避難指示区域外における建物・土地も避難区域内のそれと同様に放射性物質に曝露し、そのために取引において忌避される状況にあります。特に農業用地については、作物が深刻な風評被害により「作っても売れない」状況にあること、農作物の放射性物質による汚染を避ける必要のあることや、新規の就農者や農業の後継者の大幅な減少等により、農業用地を求める者は激減していることから、その価値は大きく失われています。

これらの被害は本市の避難指示区域外に居住してきた住民に共通に生じたものであり、地域の区別なく当然

に償われるべき被害であることから、下記のとおり要望をいたします。

記

- 1 . 精神的損害賠償については、南相馬市全体を一体として捉え、被災者に寄り添い、地域の被害実態に即し、避難指示区域外の住民に対してコミュニティの崩壊、従来 of 平穏な生活環境及び自然環境の喪失等による精神的苦痛に対する慰謝料を支払うこと。
- 2 . 避難指示区域外における不動産、とりわけ農用地の財物価値の喪失又は減少に対して適切な賠償を行うこと。